



徳育科のパイオニア コミュニティスクール

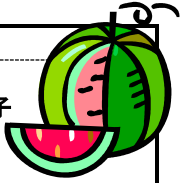
八小だより

武蔵村山市立第八小学校 令和2年7月22日

<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/mmced8s/index.html>

教育目標

- ◎ 考える子
- 思いやりのある子
- やりとげる子
- 礼を重んずる子



行動目標

わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

コロナ禍で行う「運動会」、そして「音楽会」

校長 牧 一彦

昨日(7月21日)、Yahooのトップニュースに以下のような記事が掲載されました。

東京都内で21日、新型コロナウイルスの感染者が新たに237人確認されたことがわかった。小池百合子知事が同日、報道陣に明らかにした。3日ぶりに200人台となった。都内の感染者数が100人を超えるのはこれで13日連続となる。-(中略)-

都内の感染者は16日が286人、17日が293人、18日が290人と3日連続で200人台だった後、19日は18人、20日は168人で推移していた。

一方、本市(武蔵村山市)でもここ数日で感染者が4名増えて6名になったという情報もあります。このような状況の中で、私たち学校では、どのような学校行事ができるのか、教職員一同、日夜知恵を出し合って計画を立てているところです。

「そんなに大変なら止めてしまえ。」

という声も聞こえてきます。確かにおっしゃるとおり、止めてしまうのが一番簡単です。最も安全です。教員にも負担はありません。しかし、それでは子どもの成長にはどうでしょう、思いづくりにはどうでしょう…。

私たち学校が子どもに教育するのは、教科書に書いてあることだけではないのです。学校行事は、学習塾や家庭では決して学ぶことのできない「人と人との関わりを伴う体験的活動」をとおして、集団への所属感や連帯感を深めたり、責任感を涵養したりすることを目的としています。学校でしか学ぶことのできないこれらの行事を大切に、実施することが、私たちの学校の責務であるとも言えます。

とはいえ、通常実施を強行して、大規模クラスターを起こしてしまつては、元も子もありません。十分な感染症拡大防止対策を講じた上で実施できれば、と考えています。現時点では、運動会と音楽会を以下の計画(概要)で実施する予定です。

<運動会(10月3日土曜日)>

- 「1・3・5年の部」と「2・4・6年の部」に分けての実施。(時差登校)
- 本校校庭で実施(雨天延期)
- 走種目と表現の2種目。
- 児童1人につき**保護者2名**までの参観。

<音楽会(10月31日土曜日)>

- 「1・3・5年の部」と「2・4・6年の部」に分けての実施。(時差引率)
- 市民会館大ホールで実施。
- 演目数(時間)の短縮。
- 児童1人につき**保護者1名**までの参観。

なお、言うまでもなくこれらの計画は、現時点のものであり、今後の状況によって変更される場合があります。

さて、明日からは子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。7月27日(月)から31日(金)までは、八小塾や図書室開放(貸出・返却のみ)も実施します。まずは、この4月から7月までの4カ月間の学習のまとめをしっかりとさせてほしいと思います。そして8月26日(水)には、ひと回り成長した元気な姿を見せてくれることを楽しみにしています。